

015 屋内位置情報システムの提供

取組主体

ニッタン株式会社

従業員数

1,171 人

想定災害

全般

実施地域

全国

- 火災感知器にビーコンを取り付け、GPS 等の電波が届かない屋内における人の位置把握ができるシステムを開発。災害時の逃げ遅れ防止や迅速な初動対応につなげる。

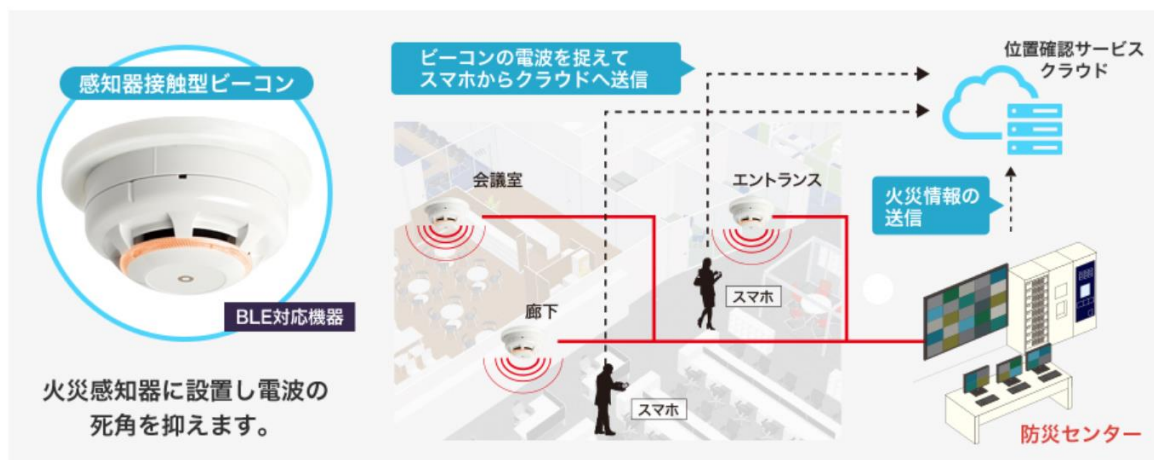
1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

屋内の人の位置情報を把握し、災害時の迅速な初動対応につなげる

- 防災メーカーとして、自動火災報知設備や消火設備等を開発、販売しているニッタン株式会社は、「屋内位置情報システム B Catch Now（ビーキャッチナウ）」を開発し、令和 2 年 4 月より提供を開始した。
- 災害時の避難や救助には、人の位置情報の把握が重要であると考えた同社が、自社製の火災感知器にビーコンを取り付け、専用アプリをダウンロードしたスマートフォンと連動させることで、屋内の人の位置や動きの把握を可能にしたサービスである。
- 屋外であれば、GPS 等を活用して人の位置情報を把握することが可能であるのに対し、屋内では、GPS 等の電波が届かないことに加え、内部の地図やレイアウトも公開されていないことが多いため、人の位置把握が難しく、災害時の避難状況の確認や救助の際に時間がかかってしまうことが課題視されてきた。
- 同サービスは、火災感知器が火災を検知すると、登録者に一斉にプッシュ通知が届く仕組みとなっており、画面を開くと、火災場所、人の位置、消火設備、非常口等が表示される。火災場所の近くにいる人や逃げ遅れた人がいる場合も、画面上で確認ができるため、最適な支援を迅速に行うことができる。また、火災を検知した感知器に一番近い従業員や警備員の名前と電話番号がすぐにわかるため、防災センターから初期消火や避難誘導等の指示を出しやすくなることも期待される。
- 令和 2 年現在、研究所や大学、病院等からの問い合わせが多く、トライアルでの導入も開始している。



専用アプリの画面



B Catch Now システムの構成

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- リアルタイムに人の所在地を確認することができるため、フリーアドレスのオフィス等における活用も可能である。登録者一覧から名前を選べると、誰がどこにいるかわかる仕組みとなっている。また、予約された会議室の実使用状況を確認したり、スタッフの作業動線や滞在時間のデータを収集・分析したりすることもできるため、作業時間の分析や人員・設備の最適配置に向けた検討への活用も可能である。

3 現状の課題・今後の展開等

- 現状はスマートフォン利用を前提としたサービスだが、高齢者等災害弱者への対応も意識し、カード型やタグ型の機器を利用したシステムなど、スマートフォンを持たない場合でも位置がわかるサービスを提供していく予定である。

4 周囲の声

- 平時の際も、職場で同僚や上司を探すのに便利だった。（同サービストライアル利用者）
- 東日本大震災の際、避難後の人数確認が大変であった。同サービスがあれば、避難できている人とできていない人がリアルタイムで確認できるため、有用だと思う。ぜひ導入を検討したい。（同サービストライアル利用者）

担当者の声

- 本サービスは、平時利用にも重点を置くことで、平時での利用をきっかけに興味を持っていただく方もいるため、結果的に防災のすそ野を広げる可能性を秘めていると考えています。今後も、安全・安心をお客様に提供し続けることができるよう邁進してまいります。

問合せ先

ニッタン株式会社 法人番号：3011001017236
TEL：03-5333-8601 HP：お問い合わせの「屋内位置情報システムについて」より

サイト URL



動画

